

Avast! の誤検知で弊社製ソフトウェアのインストールに失敗する場合の対処方法

お使いのウイルスセキュリティソフトが Avast! 製品の時、弊社ソフトウェアのインストールファイルを脅威として検出することがあり、この影響でインストールに失敗したりソフトウェアが正常に動作しないことがあります。

【原因】

拡張カーネル「Win32: Evo-gen [Susp]」を脅威として検出し、インストールに必要なファイルを退避してしまうためです。これは、[Susp] と表記があるように「脅威の可能性があるため退避した」という解釈となり、実際にインストールされるファイルはコンピュータに悪影響を及ぼすものではありません。

対処方法 ※Avast! pro での操作例です。無料版などエディションの違いで若干画面が異なることがあります。

1 タスクバー下部の常駐アプリケーションから「Avast!」のアイコンをクリックし、「アバスト!ユーザーインターフェイス」を開きます。



2 「設定」の項目をクリックします。



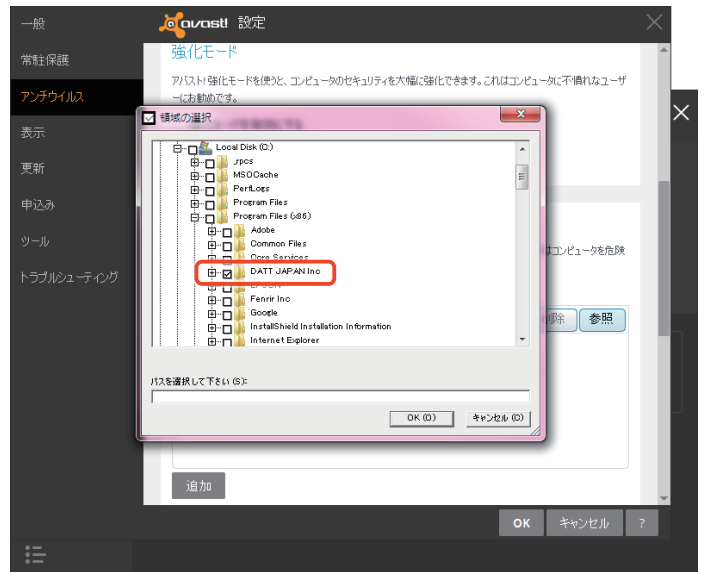
3 「アンチウイルス」の項目をクリックします。



4 表示内容を下方向にスクロールし「スキャンからの除外」の項目内で「参照」ボタンを押します。



5 「領域の選択」ウィンドウでスキャンから除外するフォルダ「C:\Program Files(x86)\DATT JAPAN Inc」を指定します。



指定フォルダにチェックが入っている状態で「OK」を押します。

※上記画面は 64bit 版 Windows をご使用の場合の設定例です。

32bit 版 Windows の場合は「Program Files(x86)」フォルダが存在しないので、「C:\Program Files\DATT JAPAN Inc」フォルダを指定してください。

6 「OK」ボタンを押して確定したのち「アバスト!ユーザーインターフェイス」を閉じてください。設定は完了です。

